

インドにおける日本留学フェア（2017/7/28-8/26までの報告）

日本留学フェア日程と参加機関：

- 7/28-29@シティ・モンテッソリー・ラクナウ高校（CMS Lucknow）・・・JASSO・北海道大学・立命館大学・東京大学
- 7/31@デリー大学北キャンパス・・・在印日本大使館・日印商工会・JST・JASSO・北海道大学・立命館大学・早稲田大学・東京大学
- 7/31@デリー大学東アジア研究学科（Department of East Asian Studies, University of Delhi）講義・・・東京大学
- 8/1@デリー大学南キャンパス・・・在印日本大使館・日印商工会・JST・JASSO・国際大学・北海道大学・立命館大学・早稲田大学・東京大学
- 8/1@デリー大学ミランダハウス（Miranda House, University of Delhi）講義・・・東京大学
- 8/1@サンスクリティ高校（Sanskriti School）・・・JST・JASSO・北海道大学・立命館大学・立命館APU・東京大学
- 8/2@高校（Scottish High International School）・・・在印日本大使館・JST・北海道大学・立命館大学・立命館APU・東京大学
- 8/3@SRM大学・・・JST・静岡大学・北海道大学・横浜国立大学・立命館大学・早稲田大学・東京大学
- 8/3@IIITDMK大学・・・JST・長岡技術科学大学・北海道大学・横浜国立大学・立命館大学・早稲田大学・東京大学
- 8/4@高校（Chettinad Hari Shree Vidyalayam）・・・JST・北海道大学・立命館大学・立命館APU・早稲田大学・東京大学
- 8/4@アンナ大学・・・在チェンナイ日本総領事館・日印商工会・JST・埼玉大学・北海道大学・横浜国立大学・立命館大学・早稲田大学・東京大学
- 8/4@アンナ大学情報理工学部（Dept. of Computer Science & Engineering, Anna University）講義・・・東京大学
- 8/5@AOTS同窓会会場チェンナイ・・・在チェンナイ日本総領事館・JF・JST・北海道大学・立命館大学・立命館APU・早稲田大学・東京大学
- 8/7-8@JSPSポスドク同窓会・・・JSPS・東洋大学・信州大学・京都大学・JAMSTEC・JST・立命館大学・東京大学、資料参加大学（大阪大、お茶の水女子大、北見工業大、京都大、島根大、筑波大、東北大、東洋大、北大、横浜国大、早稲田大）
- 8/25@MANIT Bhopal大学& IISER大学・・・日本語センター・兵庫教育大学・東京大学
- 8/26@The Bhopal School of Social Sciences, Barkatullah 大学・・・JF・日本語センター・アジア日本語学院・JTB・兵庫教育大学・立命館大学・東京大学

1) 7月28日(金) City Montessori School, Gomti Nagar I Campus (UP州 Lucknow)

ラクナウの日本語教師である星野先生の協力を得て、学生数世界一を誇る有力私立校で日本留学説明会を開催しました。複数のキャンパスの中で一番の進学校で12年生(高3)と11年生(高2)各470人に2回に分けて合計940人が集まりました。会場では、JSTさくらサイエンスプランで今年日本に訪問した体験について参加学生から報告して貰

い、JASSOと参加大学からそれぞれの説明を行いました。

立命館大の宿舍ルール紹介ビデオに男女学生がオートバイに乗って走る場面があり、 Bollywood映画を彷彿させたのか、生徒から大きな反応と拍手喝采が起きました。

大学紹介のみならず日本という国に興味をもってもらうことがまずは必要だと実感しました。保護者の参加もあり、積極的に質問していました。



学校の外観(左)と校内会場(右)

2) 7月29日(土) City Montessori School, Gomti Nagar II Campus (UP州 Lucknow)

同校主催12年生向け式典に参加し、そのプログラムの一部である進路説明会に他国(ドイツ、米国、日本、カナダ)と一緒に今回初めて参加。3,000人の学生を一堂に集めた巨大会場は、冷房がよく効いて巨大クレーン車の移動カメラと舞台には6つのスクリーンがある充実した設備があり、人口大国に相応しいスケールでした。

各国のプレゼンは以下の通りです。1)ドイツ・・・ドイツ語を学ぶ同校学生1人を登壇させて30分間ドイツ体験を説明しました。2)米国・・・留学コンサルタントが75分を使いテンプル大学の紹介と米国で活躍するインド人CEOやDEANを紹介し、



↑説明会場(7/28)
 ←3,000人が集まった式典会場(7/29)

4人の同校卒業生留学をステージに登壇させて奨学金の受領金額を説明させる内容でした。3)日本・・・米国の後登壇し、30分間3,000人の生徒を前に日本と各大学をアピール、同校の出身校である先輩の留学生からのメッセージの紹介も行いました。4)カナダ・・・オタワ大学教授によるプレゼンが行われました。

3) 7月31日(月) University of Delhi 北キャンパス(New Delhi)

国立デリー大学は工学部がなく、生徒数50万人(全日制20万人、定時制30万人)のインド最大規模の大学です。7月末に新学期が始まっていますが、新入生の入学手続きが遅れて学生が列を

作っていました。雨季に広域キャンパスから会場に動員する手立が全く不十分であり、訪問者は予想をはるかに下回ってしまいました。来場者数は、セミナーに70人、各大学ブースに50人でした。

参加者数(人)		
7/28	高校生	940
7/29	高校生中心	3,000
7/31	大学生(講義)	70
7/31	デリー大学生	120
8/1	女子大生(講義)	250
8/1	大学生中心	80
8/2	高校生	300
8/3	大学生	770
8/4	アンナ大学生(講義)	80
8/4	アンナ大学生	100
8/5	高校生・大学生・院生	410
8/7-8	高校生中心	100
8/25	大学生・院生	182
8/26	高校生・大学生	1,600

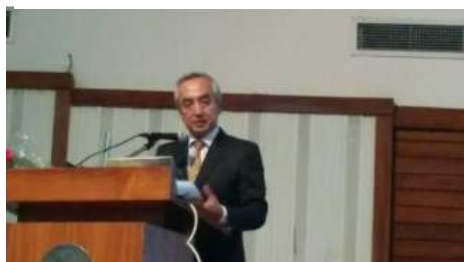


講義の様子

池亀先生の講義については、下記もご参照ください。

<http://www.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=ThuAug030726572017>

一方、同日午前中には、同大学東アジア研究学科にて、池亀彩准教授(東京大学大学院情報学環)が講義‘Untouchability Compared: Political experiences of Burakumin in Japan and Dalits (Adijans) in South India’を行いました。日本語の履修者もおり、小さな教室は聴講した70人の生徒の真剣な眼差しと熱気に包まれました。



デリー大学南キャンパスにて平松大使講演



デリー大学北キャンパス(上)

4) 8月1日(火)午前 Sanskriti School (New Delhi)

同校は、2017年JSTさくらサイエンスプラン(以下、SSP)招待参加の私立校です。当初カウンセラーとの協議では全校11～



12年生向けセミナースタイルで話を進めていたにも拘らず、7月就任の新校長の方針で日本留学に関心のある学生のみ対象として開催することになりました。5名程対象とのことでしたが、当日は10人の生徒が参加しました。生徒の自己紹介と各大学担当者との対話形式で実施しました。

12年生向けセミナースタイルで話を進めていたにも拘らず、7月就任の新校長の方針で日本留学に関心のある学生のみ対象として開催することになりました。5名程対象とのことでしたが、当日は10人の生徒が参加しました。生徒の自己紹介と各大学担当者との対話形式で実施しました。



5) 8月1日(火)午前 Miranda House, University of Delhi (New Delhi)

デリー大学には85ものカレッジがありますが、女子名門カレッジ(インドカレッジラントップ校)であるMiranda Houseにて前日同様に池亀准教授の講義を行いました。このカレッジ卒業生であり同学東アジ



←ミランダハウスの外観



↑講義開始を待つ女子学生たち

ア研究学科ランジャン准教授(東大文学博士)にもご出席戴きました。250人の女子学生が集まり、活発な質疑応答となりました。



講義概要の掲示↑

6) 8月1日(火)午後 University of Delhi 南キャンパス(New Delhi)

前日の北キャンパスに引き続き、南キャンパスでも開催しました。国際大学が新たに参加し、インド日本商工会よりは成清正浩会長が御出席、平松賢司駐インド日本大使のご臨席も賜りました。北キャンパス同様に、来場者は予想をはるかに下回り、

セミナーに40人、ブースに30人ほどでした。今回初めてデリー大学で説明会を実施しましたが、この巨大な大学の対外窓口である国際担当DEANによる生徒動員力は全く期待できないと実感しました。



テリー大学南キャンパスでのブース風景 (8/1)



7) 8月2日午前 Scottish High International School (Haryana州 Gurgaon)

2017年JSTのSSP招待参加の私立校です。同行された校長からは、日本ではいろいろと発見もあり有意義であったとのコメントをお聞きました。

SSPに参加した学生の日本体験発表と各参加大学の紹介を行いました。参加学生は9年生から12年生の合計300人が一斉に講堂に集まりました。

個別相談では、保護者の方の姿や日本留学について関心のある他校からの親子の訪問もありました。



静粛に聞き入る生徒たち(上)
登校時にバグパイプ音楽が出迎え(右)



8) 8/3(木)午前 SRM University (Chennai)

留学フェアの初開催地となる私立大学で、同大学と関係の深い静岡大学工学系早川教授に基調講演をお願いしました。同大学の出身の先輩留学生からの日本留学応援メッセージも紹介しました。

セミナーの参加者400人、ブースへの来訪者200人で賑わいました。多くのプレスも召集し、キャンパス内ホテルおよび学長主催昼食会への招待な

ど、大学全体が日本からの一行を大歓迎してくれました。掲載記事・収録映像もご参照ください。

SRM大学は東京事務所を設置し、日本との交流を積極的に拡大中です。直近では、早稲田大学が協定を締結しています。

ブースとセミナー風景



9) 8/3(木)午後 IIITDM Kancheepuram (Chennai)

国立のインド情報技術大学カンチプラム校(IIITDMK)と親交の深い長岡技術科学大学の岡崎教授が基調講演を行いました。新学長がセミナー開会の辞を述べた後、セミナー終了の最後までご出席されました。

セミナーには100人が参加、ブース

には70人が訪問しました。

開催にあたり、SR Pandian 教授(立命館大に6年間勤務)が親身に準備を進めて対応してくれました。前学長は長岡技術科学大で博士号を取得されており、親日家2人の協力により、本イベントが実現しました。



10) 8/4(金)午前 Chettinad Hari Shree Vidyalayam校 (Chennai)

昨年のJSTのSSP参加の私立高校で、来日した7人の学生のうち3人が卒業、4人が最終学年となり、うち2人が日本体験について発表してくれました。

当日は、休校日であったにも拘ら

ず、開催に協力していただき、イベント終始にわたり校長先生の出席のもと11年生と12年生の合計80人が参加してくれました。



11) 8/4(金)終日 Anna University, College of Engineering Guindy (Chennai)

州立アンナ大学では、馬場チェンナイ総領事、インドヤマハ(2輪)川島副社長(チェンナイ日本インド商工会副会長のご挨拶も賜りました。セミナーには70人が参加、ブース会場には30人が来場しました。また、STEMロボット教育会社(LSCL Robotics Pvt. Ltd. / SCCIP JAPAN Co.,Ltd)のご参加協力も得て開催しました。



馬場チェンナイ総領事の挨拶

同大学はタミルナドゥ州政府予算によるFTTP-Foreign Technical Training Programで、教員2人と学生16人が前月の7月11日～27日に横浜国立大学を訪問していました。タミルナドゥ州のプログラムは選抜された100人の学生を日本その他各国に2週間派遣するもので、本年度から開始されました。横浜国立

大学は日本を訪問することになった同州の他大学も含めて計24人の一行を受入れて大規模な交流を実施しました。

日本を訪問した男女学生2人が共同で日本体験の様子を発表、東京～新横浜間の新幹線乗車体験も実施されたようです。

アンナ大学と横浜国立大学はこれを契機に覚書締結に向けて合意しました。

セミナー会場→

また、当日午前中は、アンナ大学のコンピュータサイエンス&エンジニアリング学部にて東京大学のVorapong Suppakitpaisarn特任講師(情報理工学系研究科)が1時間の講義‘Submodular function optimization and its application to artificial intelligence’を行いました。学部生を中心に80人が出席しました。これから履修する分野であるため、個別質問もあり、関心の高さが伺えました。



アンナ大学国際部にて歓迎の記念品贈呈



12) 8/5(土) ABK-AOTS DOSOKAI Tamil Nadu Centre (Chennai)

昨年に引き続きABK AOTS DOSOKAIの協力を得て2回目を開催しました。セミナーおよびブースへの来場者は高校生から学部生・院生・社会人と幅広く、合計410人を記録しました。ロボットワークショップへの参加学生数は100人でした。

チェンナイ総領事館、インドMAYEKAWA笹浪社長、STEMロボット教育会社もセミナーに登壇いただき、昨年と同様にHIDAさんが会場とホテル間のバス送迎を行ってくれました。

本年度は、チェンナイ地元出身者のご登壇を手配し、日印関係を印象づけるセミナーにしました。スピーカーは、今年9月に立命館APU留学予定の学生2名と東大博士号取得の東京在住のご夫婦です。このご夫妻は、奥様が医師(医学博士)、ご主人が工学博士(IITM卒)でADB東京事務所勤務兼東大客員教授、JR東日本のインド新幹線計画アドバイザーも兼務されています。

午後、大雨が降り来場者が少なくなったところでイベント終了時間を迎えました。物価上昇と新税制により、昨年と比較して参加経費は15%増となりました。



13) 8/7(月)-8(火) JSPSインドポストドク同窓会主催科学セミナー(ゴア) (於: National Institute of Oceanography, Goa)

JSPSインドポストドク同窓会主催科学セミナー(同窓会幹事校: 東洋大学)に立命館大学と東京大学がブース設置で参加しました。ブースにはその他の資料参加大学(本表紙の資料参加大学名ご参照)の各種情報も配架しました。

科学セミナープログラムは右記サイトをご参照ください。



<http://ijaa2017goa.nio.org/>

ブース対応は7日と8日午前の1日半で行い、8日午後は地元の学校20校の代表生徒9年生～12年生向けにセミナーを実施しました。

セミナーは今回初の試みとなる、将来の科学者の卵である高校生との交流会で、参加した高校生は100人でした。信州大学森川教授(繊維学部先進繊維工学専攻)も参加して大学紹介を行いました。その後、学校代表生徒20人からの質疑応答で締め括りました。



主催者および主賓による基調講演



14) 8/25 (金) 午前 Maulana Azad National Institute of Technology Bhopal (MP州Bhopal)

国立工科大学ボパール(MANIT)は、学生数4,000人、女子学生の比率35%の大学です。特に、コンピューター科学科と電気通信学科は女子学生に人気です。

3連休の休校日でしたが、教師5人と生徒75人が集まってくれました。

今年、GENESYSのプログラムで教員1名、学生3名が来日した経緯があり、全



員、熱心に聴いてくれました。学部4年生の半年間がインターシップ期間(選択制)となっていて、その時期に是非日本に行きたいとの要望もありました。今後の関係の発展が期待されます。

3ブロックに分割された座席で舞台から観た左側と中央の様子

15) 8/25 (金) 午後 IISER Bhopal (MP州Bhopal)

国立インド科学教育研究大学(IISER)ボパール校は、生徒数2500人、女子学生比率35%を擁する大学で、数学、物理、化学、生物、コ

ンピューター科学のほかに経済学などの文系学科もあります。

教師2人と学生100人が集合して、熱心に話を聴いてくれました。説明会の開始に先立ち、

学長 Vinod K Singh教授(化学専攻)より15分の御挨拶を頂きました。渡日経験もある同教授には、当日の化学関係の国際会議の合間を縫ってご参加いただき、非常に誠意を感じました。

IISERは、大阪大学と交流協定があります。また、IISERの国際担当DEANは、理化学研究所(横浜)に6年間、客員研究員(生物学)として従事した経験があり、積極的に日本と交流したい旨の要望を表明されました。

セミナー終了後、数学科で学ぶ学生から日本留学を検討する相談がありました。



国際担当DEANのVineet K. Sharma 准教授(前列右から3番目)

16) 8/26 (土) The Bhopal School of Social Sciences, Barkatullah University (MP州Bhopal)

日本語センター名須川代表の御発案により、州立大学Barkatullah University, BhopalのカレッジであるThe Bhopal School of Social Sciencesにて、盛大な留学説明会を開催できました。参加学生はBSSSより400人、外部から高校生を含め1,200人で期待以上の集客となりました。

BSSSは生徒数4,000人の文系カレッジ(女子学生比60%)です。

本イベントの特長は次の通りです。

- ・文系カレッジを会場にして説明会を開催
- ・日本文化プログラムとして、会場にいる学生も含めて皆で一緒に盆踊りを楽しむエンターテインメント
- ・来賓としてTCS社幹部にお越し戴き、IT市場としての日本について講演戴き、日本の魅力をアピール
- ・日本側より3大学、2校の日本語教室、JFとJTBのご参加
- ・前日の理系2大学訪問プログラムと今回の文系カレッジ訪問で、2日間に亘り、ボ

パールにおける理系、文系の大学生と高校生を対象に、バランスよく留学説明会を実施できたことが挙げられます。

ボパールの各大学における女子学生比率が高く、予想以上に多くの女子学生にメッセージを伝えることができました。

日本から参加された福岡を拠点とするアジア日本語学院は、ボパール訪問後、引き続きインパールで説明会を開催されることを伺いました。語学学校も精力的に市場開拓に取り組まれています。





掲載記事 (チェンナイ)

↑ 舞台上での盆踊りに合わせて、会場の学生たちも立ち上がり一緒に踊りました ↑



Japan education fair to be held in city:
The 'Japan education fair 2017' will be conducted in Chennai on August 5, Saturday, between 10am and 5pm at 'Dosokai', at the Tamil Nadu Centre in Aminjikaral. Contact: 044 2374 3575 / 0318.

various quarters once they begin the restoration in the

'Study in Japan' fair on August 5

STAFF REPORTER
CHENNAI

A 'Study in Japan' fair will be organised here on August 5 between 10 a.m. and 5 p.m.. The fair is being organised by the University of Tokyo, supported by Japan's Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology in association with the Consulate General of Japan in Chennai and the ABK-AOTS DOSOKAI Tamil Nadu centre.

For details, call 044-23743575/0318

'Strike affected shooting for 40 films'

D.Govindan@timesgroup.com

Chennai: The Film Employees' Federation of South India (FEFSI), a conglomerate of workers' unions representing 26 crafts involved in film making, on Tuesday said it would withdraw its strike if the Tamil Film Producers' Council (TFPC) withdraws its statement that it would not engage FEFSI members for shooting and restore the earlier agreed wages.

The TFPC said producers of about 47 Tamil films went ahead with their shooting schedules on Tuesday, ignoring the FEFSI's strike call. Shooting for another 34 films is expected to commence on Wednesday, it added.



FEFSI claimed no Tamil film shooting took place on Tuesday

FEFSI, however, claimed no shooting for Tamil films took place on Tuesday. The shooting schedules for nearly 40 films were affected due to the strike, it claimed. "The shooting for about 40 films was affected and nearly 10,000 workers, who were employed till yesterday, did not get any work on Tuesday. We

wanted to avoid such a situation from the beginning, but TFPC was not coming forward," R.K. Subramani, president, FEFSI, told reporters here. He said the previous office bearers of TFPC, under S.Thanu, had agreed on the wages to be paid to workers from different crafts. However, the present office bearers have on their own decided to bring in changes to that and send out a circular. "Decisions cannot be taken based on emotions. As a result of the strike about 50 films, including Rajinikanth's *Rasika*, are affected," he said. "Even now, if the TFPC withdraws its statement of not engaging FEFSI workers and also restores their earlier agreed

wages, FEFSI workers will resume work," he said, adding, "Let them agree on one or two conditions. Work will resume. We can sit and discuss but other issues." But the TFPC began to differ. "We never said we will not work with FEFSI workers. We are not against some of the unreasonable conditions laid down by them. Even today, shooting for about 47 films happened in different places in the city and we are working with those interested to work with us," S.Karthikeyan, secretary, TFPC, told TOI. Shooting for films featuring Vishal, Vijay Antony and Arvind Swamy among others, progressed as scheduled, he said.

CMDA takes stock of plan to expand Chennai limits

Tamil News Network

Chennai: Nearly a month after the state government decided to expand the limits of Chennai Metropolitan Area (CMA), of details on Tuesday took stock of the progress made on the ambitious plan. The issues were discussed during the review meeting of various initiatives of the Chennai Metropolitan Development Authority (CMDA). Officials were also dependent on the metropolis was one of the issues that came up during the meeting attended by senior officials from the housing and urban development department and CMDA. "The government had made several announcements in the past five years, lines pertaining to those announcements were also discussed," an official said.

Last month, housing and urban development minister Odumalai R. Radhakrishnan unveiled a massive plan to expand the limits of CMA. From the existing 1,38 square kilometres, the city's metropolitan area would hence have a total increase to 28,000 square kilometres comprising Chennai, Kanchipuram and Thiruvallur districts, besides Arakkonam taluk of Vellore district. The government's decision to expand the metropolis is aimed at enhancing uniform urban development to areas around the city. Meanwhile, the number of ongoing projects that were registered with the Tamil Nadu Real Estate Regulatory Authority has reached more than 300 as the deadline to register such projects came to an end on Monday.

NEWS DIGEST

3 held for illegal dumping of sewage in farmland

A septic tank was intercepted along the service road from Anakkaputhur to Thiruvannamalai on Monday for dumping sewage illegally into a farmland nearby. Senior Nagar police, who were on rounds, found the lorry after numerous complaints from residents on sewage being dumped in areas around Palasuram, the Panimalar, Anakkaputhur and Thiruvannamalai. The lorry owner Raji and drivers Anand and Ambrose were taken into custody by police.

Two Lankan fishermen released: Sri Lanka fishermen Pratheepan and Nageswaran, who were detained by the state government, were released from Puzhicherry prison on Monday night, to be sent back.

The two were detained by a coast guard boat back in May when they were spotted near Nagappattinam, venturing into Indian waters while fishing. The state government's decision to release them follows the release of a number of Tamil fishermen by the Sri Lankan government last week.

Man falls from 2nd floor, dies: A construction worker died on Monday evening, succumbing to injuries after falling from the second floor of a building. The deceased, identified as Sibi Idan, was atop the building at SK Nagar, Madhavayyals, which is currently under construction, when he lost his footing and fell to his death.

Japan education fair to be held in city: The Japan education fair 2017 will be conducted in Chennai on August 5, Saturday, between 10am and 5pm at 'Dosokai', at the Tamil Nadu Centre in Aminjikaral. Contact: 044 2374 3575 / 0318.

DAILY DEALS
₹99 / Kg
SALMON / MATI
www.freshtohome.com



Six universities participate in Japan Education Fair at DU

HT Correspondent
htreporters@hindustantimes.com

NEW DELHI: A two-day Japan higher education fair was held at Delhi University to encourage more Indian students to take up studies in Japan.

Six Japanese universities, including The University of Tokyo, International University of Japan, Ritsumeikan University, Waseda University, and Hokkaido University participated in the education fair held at the South Campus on Tuesday.

The first day of the education fair was held at North Campus on Monday.

Officials from Japan said the country wants to encourage more Indian students to go there as currently only about 1,000 Indian students study at different Japanese universities.

Professor Aya Ikegame from the University of Tokyo said there were many benefits of studying in Japan, including the easier VISA process. "It is much easier to get a working VISA in Japan than in other countries. The fee is also much lower compared to western countries," she said.

The University of Tokyo is the coordinator in India for 'Study in Japan' initiative of the Japanese

government, she said.

She said that most students enquired about engineering and science and technology programmes being offered by Japanese universities.

"We have liberal arts, business management, engineering, and science and technology programmes. There is a perception that Japan is good with technology so we got many students enquiring about those courses," she said.

As part of its plan to reach out to more Indian students, the representatives from the universities will be visiting schools in Delhi, Lucknow, and Chennai.

Following the protests on Tuesday, the authorities shut down schools and colleges for the day and cut mobile internet, frequently targeted by authorities to stop the spread of what they claim to be rumours and fake messages that provoke civilian anger.

Dujana was among 11 top militants of the valley, many of whom were categorised A++ target by the army.

Dujana's marriage, sources said, could have been the reason for a rift with his-Pakistan-based handlers.

He was challenged by one of his aides, Abu Ismail, who set up a rival faction along with some Kashmiri youth. Sources said most of militant incidents involving LeT were carried out by the rival group, including the recent attack on Amarnath pilgrims.

IG Munir Khan said Dujana was involved in "harassment of girls".

"I want to tell women and girls in the valley that they are safe now," Khan added.

(With agency inputs)



Parties question NOTA option in RS poll

In a memorandum to the poll panel, the Congress said use of



జపాన్ విద్యాసంస్థల్లో ఉన్నత విద్యార్థుల వివరాలతో కూడిన సాధనరీతిని అందిస్తున్న ఎన్ఆర్ఎం, జపాన్ ప్రతినిధులు

ఆరేంలలో 'జపాన్ హైయర్ ఎడ్యుకేషన్ ఫేయిర్'

చెన్నై, ఆగస్టు 4, ప్రభాతరవారం: ఎన్ఆర్ఎం వర్గంలో జపాన్ ప్రభుత్వం ఆ దేశ విద్యా మంత్రిత్వ శాఖ ఆధ్వర్యంలో 'జపాన్ హైయర్ ఎడ్యుకేషన్ ఫేయిర్'ను గురువారం ఏర్పాటు చేసింది. చెన్నై, కాలానికోళేటూరులో ఎన్ఆర్ఎం విశ్వవిద్యాలయం టీటీ గణేశన్ ఆడిటోరియంలో 'జపాన్ హైయర్ ఎడ్యుకేషన్ ఫేయిర్'ను ఏర్పాటు చేశారు. ఈ ఫేయిర్లో యూనివర్సిటీ ఆఫ్ టోకియో, సుజికో యూనివర్సిటీ, కుమాన్ ఇన్స్టిట్యూట్ ఆఫ్ టెక్నాలజీ, యూనియన్ ఆఫ్ జపాన్ స్టెంబిల్స్ అండ్ ఇంజనీర్స్, టోకియో యూనివర్సిటీ, ఎన్ఆర్ఎం కాల్యాణ్, వాషింగ్ యూనివర్సిటీ, రిట్సీయన్ యూనివర్సిటీ, యోకోహా నేషనల్ వర్సిటీ, ప్రఖ్యాత విద్యా సంస్థల ఆధ్వర్యంలో 'జపాన్ హైయర్ ఎడ్యుకేషన్ ఫేయిర్'ను ఏర్పాటు చేశారు. జపాన్లో ఉన్నత విద్యా సంస్థల శీర్షల కోర్సులు తదితర అంశాలను ఈ ఫేయిర్లో విద్యార్థులకు వివరించారు. ఈ సందర్భంగా జరిగిన సమావేశంలో ఎన్ఆర్ఎం వర్సిటీ రిజిస్ట్రార్ సేతురామన్, ఇంజనీరింగ్ అండ్ టెక్నాలజీ డైరెక్టర్ ముత్తయిగో సైలన్, సీహెచ్ఎస్ ఎస్. సోమస్వామియ్యం, ఇతర డైరెక్టర్ కర్నల్ సింగ్, జపాన్ విద్యాసంస్థల ప్రతినిధులు యుజిసివిక్యా, జన్యూనెస్ కు, యోనోహో హైక్యా, హోల్డ్ యోషిహా, షిగికి ఆషిద, ఫెర్మాట్ అర్థిగా, హిడ్చి యోషిషికి, తకురో సబో తదితరులు పాల్గొన్నారు. ఇందులో జపాన్ విద్యావిధానం, టెక్నాలజీ, కోర్సుల వివరాలను వివరించారు. జపాన్ సంస్కృతి, సంప్రదాయాలు, టెక్నాలజీ విస్తరణ, ప్రగతిపథం, విద్యార్థులను, స్కాలర్షిప్లు, పర్యావరణం, రవాణా సదుపాయం గురించి దాకామెంటరీగా వివరించారు. తమ దేశ ప్రధానితో భారత ప్రధాని సరేంద్రమోడీ సమావేశం గురించి, ఇందులో విద్యాసంస్థల ఒప్పందాల గురించి వివరించారు. తమ దేశంలో ఉన్నత విద్యను అభ్యసించేందుకు పెద్ద ఎత్తున విద్యార్థులు గణిత మేధావి శ్రీనివాస్ రామానుజం పుట్టిన తమిళనాడు నుంచి తరలి రావాలని ఆకాంక్షిస్తున్నట్లు తెలిపారు. ఎన్ఆర్ఎం రిజిస్ట్రార్ సేతురామన్ మాట్లాడుతూ జపాన్లోని విద్యా సంస్థలతో తాము విద్యార్థులకు ఒప్పందాలను కుదుర్చుకోవడం ఆసందం గా ఉందని తెలిపారు. ఈ ఒప్పందం ద్వారా విద్యార్థులు మరింత ఉన్నత విద్యను అభ్యసించేందుకు వీలవుతుందని తెలిపారు.



ఫేయిర్లో జపాన్ విద్యాసంస్థల్లోని కోర్సులను వివరిస్తున్న దృశ్యం

JAPAN HIGHER EDUCATION ITEM PUBLISHED VAARTHA TELUGU DAILY 5.8.2017



జపాన్ విద్యా సంస్థలు, కోర్సుల గురించి వివరిస్తున్న...

సాక్షి, చెన్నై: ఆస్తి రంగాల్లో దూకుతున్న తమ దేశం తో ఉన్నత విద్యను అభ్యసించేందుకు ముందుకు రావాలని విద్యార్థులకు జపాన్ ప్రభుత్వం వీలువు సుద్దింది. విద్యా మేళా ద్వారా తమ దేశంలోని ప్రఖ్యాత పర్సనలు, కోర్సులు, టెక్నాలజీల గురించి చెన్నైలో గురువారం అమావాస కార్యక్రమాన్ని నిర్వహించారు. కాలానికోళేటూరులో ఉన్నత విద్య నిమిత్తం జరిగిన సమావేశం తెలిసింది. ప్రస్తుతం ఆ దేశాధ్యక్షుడిగా ప్రపంచ రాజకీయాలను, ఇతర విషయాలను కలిపి అయ్యాయి. టోక్యో లాంటివి విద్యార్థులకు ఇక్కడే రిజిస్ట్రార్ జపాన్ రంగంలోకి దిగింది. వాటిలోని ప్రఖ్యాత పర్సనలతో జపాన్కు చెందిన విద్యా సంస్థలు ఒప్పందాలు కుదుర్చుకునే పనిలోపడ్డాయి. తమ దేశానికి రండి అంటూ విద్యార్థులకు ఆహ్వానం పలికి పనిలో నిమగ్నమయ్యాయి. ఆ దేశాన్ని ఎన్ఆర్ఎం వర్సిటీలో జపాన్ ప్రభుత్వ విద్యా మంత్రిత్వ శాఖ సేక్రెటరీలో ఉన్నత విద్యా సేయిర్ను గురువారం ఏర్పాటు చేశారు.

మా దేశానికి రండి

యూనివర్సిటీ, ఎన్ఆర్ఎం కాల్యాణ్, వాషింగ్ యూనివర్సిటీ, రిట్సీయన్ యూనివర్సిటీ, యోకోహా నేషనల్ వర్సిటీ, ప్రఖ్యాత విద్యా సంస్థల నేతృత్వంలో ఈ ఫేయిర్లో స్థానిక విద్యార్థులు చేశారు. ఆయా విద్యా సంస్థల గురించి, పనితీరు, విద్యార్థులకు ఇచ్చే కోర్సులు తదితర అంశాలను ఇందులో విద్యార్థులకు వివరించారు. ఈ సందర్భాన్ని పునరుద్ధరించుకు జరిగిన సమావేశంలో ఎన్ఆర్ఎం వర్సిటీ రిజిస్ట్రార్ సేతురామన్, ఇంజనీరింగ్ అండ్ టెక్నాలజీ డైరెక్టర్ కర్నల్ సింగ్, సీహెచ్ఎస్ ఎస్. సోమస్వామియ్యం, ఇతర డైరెక్టర్ కర్నల్ సింగ్, జపాన్ విద్యా సంస్థల ప్రతినిధులు యుజిసివిక్యా, జన్యూనెస్ కు, యోనోహో హైక్యా, హోల్డ్ యోషిహా, షిగికి ఆషిద, ఫెర్మాట్ అర్థిగా, హిడ్చి యోషిషికి, తకురో సబో పాల్గొన్నారు. ఇందులో జపాన్ విద్యావిధానం, టెక్నాలజీ, కోర్సుల వివరాలను వివరించారు. జపాన్ ప్రతినిధులు తమ ప్రధానితో భారత ప్రధాని సరేంద్రమోడీ పని ద్వారా అందించారు. జపాన్ సంస్కృతి, సంప్రదాయాలు, టెక్నాలజీ విస్తరణ, ప్రగతిపథం, విద్యా బోధనలు, స్కాలర్ షిప్లు, పర్యావరణం, వేదతరణం, రవాణా సదుపాయం గురించి వివరించారు. జపాన్ దేశ ప్రధానితో భారత ప్రధాని సరేంద్ర మోడీ తేలి గురించి, ఇందులో కుదిరిన విద్యా ఒప్పందాలను వివరించారు. ఇది విద్యా సంస్థల నేతృత్వంలో జరుగుతున్న కార్యక్రమం కాదు అని, తమ దేశ ప్రభుత్వం అందిస్తున్న సహకారం, ప్రోత్సాహంతో విద్యార్థులను ప్రకటించారు. తమ దేశంలో ఉన్నత విద్యను అభ్యసించేందుకు పెద్ద ఎత్తున విద్యార్థులు గణిత మేధావి రామానుజం పుట్టిన తమిళనాడు గురించి వివరించారు. జపాన్ దేశ ప్రధానితో భారత ప్రధాని సరేంద్ర మోడీ తేలి గురించి, ఇందులో కుదిరిన విద్యా ఒప్పందాలను కుదుర్చుకోవడం ఆసందం గా ఉందని తెలిపారు. ఈ ఒప్పందం ద్వారా విద్యార్థులు మరింత ఉన్నత విద్యను అభ్యసించేందుకు వీలవుతుందని తెలిపారు.



జపాన్ విద్యా సంస్థల్లో సాధనరీతిని వివరిస్తున్న పుస్తకావిష్కరణ

విద్యార్థులకు జపాన్ ఆహ్వానం
ఉన్నత విద్యామేళాతో ఆహ్వానం

BSSS organises Educational Fair on awareness of Japanese language



The educational fair underway at BSSS.

■ Staff Reporter

THE Bhopal School of Social Sciences (BSSS) organised an Educational Fair on Saturday in the college premises from 10 am till 6 pm. The objective was to spread awareness about Japanese language, Research, Educational Opportunities and Scholarships in Higher Education and Job Prospects in Japan.

The Embassy of Japan, Hyogo University of Teacher Education, Japan Foundation, Ritsumeikan University, The University of Tokyo, Nihongo Centre, Japan Travel Bureau and Asia Japanese Academy were the key participants.

Students from various schools and colleges of the city were invited to take benefit of this golden opportunity. Principle of BSSS, Dr Fr John PJ welcomed all the guests, dignitaries and participants. He, in his welcome address, highlighted the objectives of the BSSS educational fair that this has been his dream venture to collaborate at a global pedestal for education and research.

Hiroshi Yoshino, Director, the University of Tokyo, introduced the students to the prospects of higher education in Japan.

Srinivasan Hariharan, Principal Consultant, Tata Consultancy Services, Mumbai, spoke about the prospects of Indian-Japanese

collaboration and the importance of learning the Japanese language. The chief guest of the event, Additional Chief Secretary, Higher Education, Government of Madhya Pradesh, B R Naidu also addressed the gathering.

This was followed by a series of presentations by the Director, Asia Japanese Academy, Dharma Raj Adhikari, President Nihongo Centre Noriko Nasukawa, Director, Hyogo University of Teacher Education Dr Tomoko Nasukawa and Dr Shigeki Ashida, Director, India Office from Ritsumeikan University-shared useful information with more than 1000 students who had turned up from various prominent schools and colleges of Bhopal. Many informative stalls were installed which provided relevant information and answered the queries put forth. Study Materials were displayed and a lot was discussed about educational opportunities and job prospects in Japan. The presentation concluded with an attractive cultural program by Japan Foundation JTB and Nihongo Centre.

Sunita Anand and Dr Lila Simon, who headed and co-ordinated the event, thanked one and all for their enthusiastic co-operation and eager participation which resulted in the grand success of the event.

Learn Japanese, welcome opportunities

Festival based on Japanese education was organised at a city school

DB Post Correspondent

Bhopal: Did you know that Japan has a policy of lifetime employment for more than 27 percent of its employees? Companies update employees on the latest and provide training during the job to make employees more proficient.

Students of Bhopal got to know all this and more about the education system of Japan at Bhopal School of Social Sciences (BSSS) which organised fest based on Japan on Saturday.

Students from various schools and colleges of the city were invited to take benefit of this golden opportunity.

The objective was to spread awareness about Japanese language, research, educational opportunities and scholarships in higher education and job prospects in Japan.

Study material was displayed and discussions were held about educational opportunities and job prospects in Japan. The presentation concluded with an attractive cultural program by Japan Foundation JTB & Nihongo Centre.

Hiroshi Yoshino, Director, the University of Tokyo, introduced the students to the prospects of higher education in Japan.




Increased trade has created demand

Improved trade relations between Japan & India and an upsurge in Japanese foreign direct investment (FDI) have generated demand for qualified translators, workers and professionals with a working knowledge of Japanese.

-Srinivasan Hariharan, principal consultant, Tata Consultants


掲載記事 (チェンナイ)

Opportunities in the Land of the Rising Sun



The Japan Science Education Fair gave the students a virtual tour of the infrastructure, courses offered and the scholarships provided by the various universities in Japan. The students got clarity on the application process and the procedure involved for pursuing higher studies in Japan. It was also a platform to meet the representatives from the various universities.

- Carina Veda Perla, Grade XI



Chettinad Hari Shree Vidyalayam校のニュースレター(2017年8月号)より抜粋

ビデオクリップ (チェンナイ)

- 14 Minutes of TV News

<http://kalkiwebtv.com/newsdetails.php?id=18440>

- News report

<http://www.uniindia.com/photoes/141510.html>

<http://www.uniindia.com/photoes/141511.html>